

ホシケン通信

北関東最大級の展示会にぎわう

「プラスワン」テーマに最新提案 ホシケンインテリアフェア開催

内装材・インテリア商材卸として北関東トップクラスの実績を誇るホシケン（星野貴洋社長）は6月12、13の両日、高崎市問屋町のビエント高崎（ビッグキューブ）で「第45回ホシケンインテリアフェア2026」を開催した。

テーマは「プラスワン」。各メーカーと連携し、日々の仕事や暮らしに新たな価値を加える提案を行った。インテリア資材、壁紙、カーテン、電動工具メーカーや商社など29社が出展した。

同社は約2000社の内装工事業者と取り引きしており、同フェアは北関東最大級の規模を誇る。来場者は最新の商品や施工技術に触れながら、情報交換を行った。

今回は「社員や家族を守る防災」「熱中症対策」など、現場や日常生活に直結するテーマを重視。防災食の試食や、13日に実施した地震体験車「なます号」による体験会などを通じて、防災意識の向上を図った。

また、群馬県室内装飾事業協同組合（渡邊望理事長）が「フロアタイル施工講習会」と「防犯フィルム施工・強度体験講習会」を開催。防犯の視点を取り入れた実践的な内容に、多くの来場者が耳を傾けた。

会場では各ブースを巡る「クイズラリー」のほか、壁紙サンプルを活用した参加型イベント「ビリンピック」、ネ



▲リサイクルの精神も学べた「ビリンピック」



▲来場者は各種施工講習会に熱心に耳を傾けていた

イルコーナーや射的コーナー、キッチンカーなども用意され、家族連れでにぎわった。

出展した壁紙メーカー・リリカラの佐藤敏之営業2部長は「多くの業者の方に商品を紹介できる貴重な機会。直接相談や要望を聞くことで、より良い商品づくりにつながりたい」と話した。

また、壁紙施工用接着剤メーカーのウォールボンド工業営業部の坂本悠樹さんは「来場者数、出展者数ともに業界屈指のイベント。職人の皆さんと直接交流できる貴重な場」と評価した。

同社は昨年創業120周年を迎えた。[S]化やペーパーレス化の一環として展示会専用の受発注システムを導入し、出展者に配布したタブレット端末で会場内からの受注入力にも対応した。

また今年1月には、内装工事業者向けフリーペーパー「貼り人通信」を創刊。現場で役立つ知識や道具・材料の情報、業界課題などを発信しており、会場でも来場者に配布した。

山岸秀毅経営企画室長は「防災や熱中症対策など時代に即したテーマを盛り込んだことで、多くの方にご来場いただいた。日々の仕事にもう一つの価値を加えるヒントを持ち帰っていただけたのでは」と話している。

前橋市城東町5-657-18
☎ 027-226-1845

